



やまた

議会だより

シリーズ 家族の笑顔

豊間根地区在住の小山さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P12)

No. 172

2021. 8. 1発行
岩手県山田町議会

6月
定例会

繫橋補修工事を可決 — 2P

町政を問う（7人が一般質問） — 3P

委員会活動レポート — 10P

繫橋補修工事を可決

6月

定例会の あらまし

令和3年6月定例会は6月8日から10日まで3日間にわたって開かれました。町長提案の議案17件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2頁)



老朽箇所の補修や塗装の塗り直しが行われる繫橋

老 朽化した豊間根地区繫橋の補修工事が提案され、全員賛成で可決しました。

■ 工事の概要

▽ 工事名

町道繫線(繫橋)橋梁

▽ 補修工事

▽ 工期

3年6月14日
～ 4年2月28日

▽ 契約金額

1億6720万円

▽ 受注者

株式会社菊地建設

株式会社菊地建設

■ 質疑応答

問 工事の間、通行規制はどのようになるのか。

佐々木建設課長 工事の

進み具合によって、全面通行止めや片側通行となる期間があるが、全面通行止めの際、歩行者の通行は確保する。

一般質問では7人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(3～9頁)

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、9月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

請願審査

■ 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願

▽ 提出者 岩手県医療労働組合連合会 執行委員長 中野るみ子氏

▽ 紹介議員 黒沢一成議員、吉川淑子議員、木村洋子議員

▽ 請願の要旨 国に対し、医療・介護・福祉に

財源確保を行うことなどを記載した意見書を提出

すること

▽ 付託委員会 産業建設

民生常任委員会

▽ 審査の結果 採択

▽ 意見書提出先 内閣総

理大臣、厚生労働大臣、

総務大臣、財務大臣

定例会 主な議決議案の内容

■ 一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか人事異動に伴う人件費の組み替えなど、補正総額1億1650万円の令和3年度一般会計補正予算(第2号)が提案され、全員賛成で可決しました。補正後の予算総額は101億7858万円です。

■ 消防ポンプ自動車の購入

消防団第11分団で使用する消防ポンプ自動車1台の取得を全員賛成で可決しました。

▷ 取得金額 2332万円

▷ 買入れ先 有限会社佐々木ボデー

問

海童丸

料金の見直しは

答

観光協会と研究している

問 オランダ島までの送迎の船賃が1人千円で、5人家族で利用すると5千円かかる。これでは高くて海水浴に子どもを連れて行けないとの住民の声があるが、住民の声に耳を傾け検討する考えはないか。

佐藤町長 海水浴シーズンにおけるオランダ島送迎コースの料金は、中学生以上が千円、小学生が500円となっている。震災前はそれぞれ現行の

半額であったことから、高いと感じる方が多いものと推察している。料金設定に関しては、必要経費を積み上げ、収支のバランスなどを考慮しながら決定したが、料金が高いといった声は町にも寄せられている。検討の余地がないか指定管理者である観光協会と現在研究している。

意見 町民の要望でもあるので、ぜひお願いする。



議員 清 恭 生 (新 生 会)

問

新型コロナウイルス ワクチン接種完了時期は

答

9月末と見込んでいます

問 コロナワクチンの接種対象となる町民全員の接種が完了するのはいつか。

町長 希望する方の接種が、9月末と見込んでいます。



海童丸でさらなる観光客の誘致を

問

新・道の駅

他市町村との差別化は

答

町ならではの農林水産物を中心に

問 最近、県内各地で道の駅が開業している。本町の新・道の駅と他市町村の道の駅との差別化を図り、特徴ある道の駅を造り観光客の誘致に努めるべきと思うが、どのように差別化を図る考えはあるか。

町長 新・道の駅に関しては、カキをはじめとした特産品をバーベキューなどで自ら調理して飲食

できるサービスを考えている。山田町ならではの農林水産物を中心とした新鮮な商品を提供することで他施設との差別化を図る考えである。

問 新・道の駅にガソリンスタンドの併設は考えていないか。

その他の質問

- ◆ 町職員の時間外勤務の解消策は
- ◆ なしばだけの道路拡幅は
- ◆ 草木地区の避難道の完成時期は

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることであります。

問 若者等の雇用創出のため企業誘致を



議員 関 清 貴 (政 和 会)

答 優遇制度の情報発信に努めている

問 若者等の雇用機会の創出と人口流出の抑制を考え企業誘致を進める課題とその解決策は。また、用地等を整備し、立地条件を良くする考えは。

佐藤町長 誘致は、県と連携し、優遇制度などの情報発信に取り組んでいる。加えて企業のニーズを把握しPR活動が必要であると捉えている。また、工業用地の整備については具体的に検討している。

問 工業団地だけでなくIT産業など、時代に即応した企業の誘致が考えられないか。

野口水産商工課長 柔軟に対応するように努めている。

問 本町の起業家への支援はニーズに十分応えら

れているか。
町長 創業時の設備導入費用、家賃補助を実施しており手厚い支援施策となっている。
問 補助金の上限を50万円とした根拠は。
水産商工課長 県の補助

事業ではパソコンなど汎用性のあるものは認められていない。事業用として整理できるのであればその部分を町で補助するという考えで50万円とした。

問 庁舎前の町旗掲揚塔に 国旗を

答 掲揚する方向で

問 庁舎前の町旗掲揚塔に国旗も掲揚すべきと考えるが。

町長 祝日に掲揚している。

問 普段掲揚しないのか。

甲斐谷副町長 掲揚する方向で進めたい。節目の日からの掲揚と考えている。

問 役場から発出される通知文書等が一つの世帯に対し複数の封書が届き無駄な経費をかけているという住民の声があるが改善しないのか。

町長 家族間のプライバシーの配慮から個別に発送するケースもあるが、コスト意識を持ち業務に取り組む。

その他の質問

- ◆ 磯焼け対策としてウニの畜養事業を考えているか
- ◆ 新・道の駅の避難等の施設整備は
- ◆ 行政区長制度の存続は
- ◆ 3人目の出生時にお祝い金は
- ◆ 児童生徒の1世帯2人目から給食費の免除を

問 GIGAスクール構想 タブレット端末の破損時は

答 教育委員会の予備機で対応

問 児童生徒がタブレット端末を破損した場合の取り扱い。

佐々木教育長 基本的には教育委員会が保管する予備機で補填する。

問 タブレット端末が児童生徒に1人1台配置されたことで、指導する教員の業務量が増え、働き方改革の面から問題が生じないか。

問 学校図書の実践は全ての小学校に配慮しているか。
教育長 3年度においても各校に配慮して、購入を予定している。



地域の宝の子どもたちに学校図書の充実を

しんちよく

災害復旧の進捗は

問

答

早期完成を目指す



議員 山崎 昌 泰 (政 和 会)

問 大浦地区のワラビ川付近の道路整備は防潮堤の完成とともに整備されると以前の定例会で回答を受けている。防潮堤は完成しているようだが、道路整備が見えない。町は現状をどのように認識しているか。

佐藤町長 防潮堤は既に完成しているが、町道長林・大浦線など3路線が交差する箇所の道路整備は、大部分が未着手となっている。県と協議を進めており、3年9月頃から工事に着手し、3年度完成を目指す。

問 なぜ予定より遅れて着工するのか。県との話し合いが不調だったのか。

佐々木建設課長 これまでの協議の場において、町として主体性をもって要請すべきだったと反省している。今後はこのようないことがないように県と積極的に関わっていく。

問 3路線が交差する場所は舗装だけでなく大規模改修になると考えるが町の見解は。

建設課長 交差点部一帯は降雨時に冠水する状況であり、道路舗装の打ち替えと併せて、排水対策として側溝改修や集水ますの整備を計画している。

問 同じく山田地区の三陸やまだ漁協付近でも未舗装の場所がある。対応は。



早期の町道整備を（大浦地区）

野口水産商工課長 現地を確認し、水産振興センターに早急な対応を求めていく。

問 荒神海水浴場まで新しい道路を造る計画だが進捗状況は。

町長 山側を通る新路線2ルートと、現道の町道

金浜線及び通称開拓道路を加えた4ルートの検討資料が整ったところであり、施工性や利便性等の課題を整理し、財源も含めて慎重に検討を進めていく。

答

順調に推移している

問 3医療施設の稼働実績は。

町長 1日あたり合計約300人の接種を行っており、順調に推移している。65歳以上の高齢者約6200人のうち、6月1日時点で3101人が1回目の接種を、166人が2回目の接種を終えた。

問 予定日に会場に行けなかった場合はどのような手続きが必要か。

町長 予定日に来れなかった方には改めて予約を取り直していただく

か、キャンセル枠での対応をしている。

問 接種希望者の交通手段を確保することのことだったが、その内容は。

濱登健康子ども課長 コミュニティバスを参考にして、7地区で20人乗りバスを運行している。

問 65歳以上と、全ての町民の接種完了時期は。

健康子ども課長 65歳以上の方は7月下旬を、町民の希望する方の接種は9月末完了を見込んでいく。

問

ワクチン接種の現状は

問 ワクチンキャンセル分の対応は

答 町民優先、職員は最終手段として



よこ た たつ ひさ
横 田 龍 寿 議員
(政 和 会)



ワクチン接種は順調に進んでいます

問 防災・防疫の観点から新型コロナウイルスワクチンのキャンセルができたときは窓口で町民と接する職員等に早めに接種してはどうか。

佐藤町長 町民の方から優先に接種する考えであり、キャンセル対応を希望する方がいます。

望した高齢者への接種で対応し、町民の方が対応できない場合には無駄にしないために最終的に町職員に接種する。

問 キャンセル分に対応するために町職員のリストを作成した方がよいと考えるがどうか。

濱登健康子ども課長 町民のキャンセル対応が難しい場合、次の優先は在宅介護サービス事業者となるが、既に名簿を頂いている。その次に町職員としており、その分の名簿もある。

問

子育て支援

町たばこ税を財源にしては

答

これまででも財源の一つ

問 町たばこ税の使途は。

なされたが、そちらの財源としてはどうか。

町長 町たばこ税は財源の使途が特定されない一般財源であり、町民税などと同様に町政運営の貴重な財源として幅広く活用している。

町長 子育て支援の財源については、国庫支出金などの特定財源のほか、町たばこ税を含む一般財源を充てており、今後も子育て世代への支援を行っていく。

問 今までに多くの議員から子育て世代への金銭的支援をするよう要望があるが

問 市町村で独自にできるのは金銭的動機づけか

甲斐谷副町長 一般財源が増えたから制度を作る、減ったから制度をなくすということではできない。

問

広報やまだ

遠方で頑張る町出身者の取り上げを

答

これまででも紙面上で紹介

問 広報やまだで関東などの遠隔地で頑張っている当町の出身者を取り上げてはどうか。

る方々を取り上げていきたい。

町長 これまでも折に触れ、紙面上で紹介している。今後も町内外において、様々な分野で活躍す

問 役場主催で町民と遠隔地にいる方々とを繋ぐイベントは、ふる里山田同郷の会総会だと思っ

掲載頻度を増やしてみたい。 **昆総務課長** ふる里山田同郷の会の開催時には、インタビュー記事などを載せている。情報提供があれば積極的に紹介していきたい。

て、様々な分野で活躍す

しかし、総会が2年連続で中止になっているので

掲載頻度を増やしてみたい。



議員 木村 洋子 (日本共産党)

問 処理水放出反対すべきでは

答 国の説明が必要と考える

問 国と東電は4月、トリチウムを含む福島第1原発の処理水の処分について、海水で薄めて海へ放出することを決めた。本町は、漁業が基幹産業であり、現在も不漁と新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けているところに、処理水の海洋放出となれば壊滅的打撃を受けかねない。漁業の存亡に関わる事態と考えるが町の対応は。

佐藤町長 本町の水産業は、町の経済を支える重要な役割を果たしており、処理水の海洋放出による風評被害などがあつてはならない。国において、海洋放出を決めた科学的根拠の分かりやすい説明

を行い、太平洋沿岸の自治体や漁業関係団体、国民、国際社会の理解を得る必要があると考える。本町を含む三陸沿岸13市町村で構成する岩手三陸連携会議において、「処理水について海洋放出に よらない新たな処理・保管方法を検討すること」など、緊急要望を実施したところである。

問 岩手県市長会・東北市長会において、海洋放出によらない方法の検討を求める特別決議があつた。佐藤町長は、町

村会役員として反対の決議を上げるのか。

町長 私も反対の立場である。福島県の復興を考えると、膨大なアルプス処理水をどうするか。反対することは簡単だ。国は科学的根拠のしっかりとした説明をすることが必要だ。

問 問うのは町長として能動的立場がとれるか。

町長 国による科学的根拠のしっかりとした説明を求めている。

問

町有地貸付
契約保証金の免除を

答

必要なものと
捉えている

問 復興交付金で整備した町有地の貸し付けに関して、被災事業者にとつては、契約保証金のような初期段階でまとまったお金を準備するのは分割可であったとしても負担感が大きい。新しく事業を展開し頑張っているとして、最大限の支援策を講じていくのが被災自治体の役割ではないのか。被

災の大きかった陸前高田市・大槌町と同様に契約保証金は取らない方向にすべきだ。

町長 契約保証金は、50年という長期契約となることを踏まえ、その間の契約の適切な履行を保証するため必要なものと捉えている。初期段階で負担を軽減するため、最大10回まで分割可とした。

用語解説
「ALPS(アルプス)処理水」
多核種除去設備(ALPS)などを使って「汚染水」からトリチウム以外の放射性物質を規制基準以下まで取り除いたもの。

その他の質問

- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種の対応は
- ◆ コミュニティバス運行の状況と課題は
- ◆ 就学援助の状況と課題は



空き区画の早期解消が望まれる町有地 (境田地区)

問 山田北IC
フル化の要望計画は



きく ち こう めい
菊 地 光 明 議 員
(新 生 会)

答 全町を挙げた取り組みを推進



フル化が望まれる山田北インター

問 山田北インターのフル化については、命の道や広域生活圏として共通認識を確認して、町及び議会を含めオール山田町として取り組むことを確認したことは、大変重要なことと認識している。町長の力強い方向性に敬

意を表す。そこで今年度はどのような要望活動を計画しているのか伺う。
佐藤町長 全国各地からフル化の要望の声が上がっている中、山田北インターのフル化を実現させるためには、全町を挙げた取り組みが重要であると考えている。今年度は、国に対する要望強化を主眼に、フル化の必要性和期待される効果を具体的に提示し、地域住民及び北インター周辺企業からの声を盛り込む計画としている。要望活動に伴うバックデータについては、2年度に実施した山田北インターチェンジフル化必要性検討業務により、北インター周辺における企業の立地状況や就業実態のほか、救急搬送における課題などを取りまとめたところであり、これらのデータを基に、周辺土地及び町有施設の利活用についても検討を加え、推進したい。

問 町長の具体的な取り組み内容について改めて敬意を表す。町長をバツ

クアップする建設課長の決意を伺う。
佐々木建設課長 山田北インターのフル化をなんとしても実現させなければ

ばとの強い決意で取り組んでいく。一日も早い事業採択を目指し、熱意と使命感を持って職務に当たっていく。

問

磯焼け対策は

答

関係機関と協議する

問 磯焼け対策としてのウニの間引き畜養について、県の実証事業は順調に進んでいるようだが、本町における磯焼け対策について詳しく述べよ。
町長 今年3月に県が作成した「岩手県藻場保全・創造方針」において、本県の主な藻場衰退要因

は、「ウニによる食害」、「砂等による基質の埋没」であり、「ウニの除去」、「藻礁ブロックの設置」が必要であると示されている。磯焼け対策など漁場環境の改善は喫緊の課題であり、対応可能な対策について関係機関と協議を進めていく。

その他の質問

- ◆コミュニティバスの試験運行の変更計画は
- ◆相続登記の未登記の解決は



とよ ま ね まこと
豊 間 根 信 議員
(政 和 会)

問 新型コロナウイルス 接種現状と課題は

答 キャンセルによる無駄を防ぐ

問 新型コロナウイルスの接種の現在の進捗状況はどうか。

佐藤町長 65歳以上の高齢者約62,000人のうち、6月1日時点で約52,000人の予約があった。1回目接種を終えた方が31,011人、2回目接種を終えた方が16,6人となっている。

問 現状の課題と今後の接種計画は。

町長 課題として、当日キャンセルが発生したときの対応が挙げられるがキャンセル対応を希望した高齢者への接種で対応する。今後の計画としては、7月上旬を目途に65歳未満の接種を開始する予定であり、国の方針に合わせた対応をしてい

く。希望する方の接種完了は、9月末と見込んでいます。

問 キャンセル時、職員をはじめ関連従事者等が接種することについて、理解を得られるよう町民

に周知しては。 **濱登健康子ども課長** ワクチンの無駄を避けるためのキャンセル対応について、町民への周知を検討していく。

問 コロナ禍 生活困窮家庭への

支援施策は

答

関係機関と連携し さらなる支援に努める

問 生活困窮家庭に対する支援施策の現状及び成果について問う。

町長 生活困窮に関する相談に対して、関係機関と連携し個々の状況に応じた各種支援を行って

り、一定の効果があるものと考えている。引き続き関係機関と連携を図り、国の新たな給付制度などにより、さらなる支援に努めていく。

その他の質問

- ◆ 移住施策の内容及び今後の展望は
- ◆ 経済対応施策の成果は
- ◆ 子育て支援の今後の施策展開は

問

町内災害復旧工事の 進捗状況と課題は

答

今年度内の完成に向けて 進めていく

問 田の浜地区女川をはじめとして令和元年台風19号により被害を受けた町内各地域の工事進捗状況と課題及び主な河川・道路・農地・山林等の災害に備えた整備状況と課題について問う。

町長 国から災害査定を受けた災害復旧工事の5月末時点の進捗は、道路及び河川等の公共土木施設については52件のうち44件が発注済みであり、22件が復旧済みである。未復旧箇所の早期復旧が喫緊の課題であるが、今年度内の完成に向けて進めていく。近年、全国的に豪雨災害が頻発・激甚化する中において、治山・治水対策の強化が課題であると認識してい

る。今後も県と協力し、しゅんせつ等による河川の適正な維持管理に努めるとともに、治山施設の早期整備も継続して要望していく。



早急な整備が必要な準用河川女川

産業建設民生常任委員会

産業建設民生常任委員会とは、町の農林課、水産商工課、長寿福祉課、健康子ども課、建設課、都市計画課及び上下水道課に属する事務の調査などを主に行っています。

メンバーは、委員長きくち こうめいの菊地光明議員、副委員長さとう かつのりの佐藤克典議員、委員こん きよしの昆清議員、阿部吉衛あべ よしえ議員、横田龍寿よこた たつひさ議員、坂本正さかもと ただし議員です。

台風19号被害からの復旧工事箇所を視察

4月26日、産業建設民生常任委員会は、令和元年台風19号で被害を受け、復旧工事を行った箇所などの現地視察を行いました。

視察箇所は22カ所で、準用河川女川や準用河川長内川などの特に被害が大きかった箇所を重点的に視察し、担当課から状況の説明を受けました。

なお、写真は被災直後と4月26日現在のものを掲載しています。



被災し土砂や流木が山積みになった女川上流部



女川上流部に設置された仮設ワイヤーネット

準用河川女川 (田の浜地区)

大規模な土石流が発生した準用河川女川の上流部には、岩手県により砂防堰堤えんていが整備されます。整備されるまでの間、仮設のワイヤーネットが設置され、応急的な対策が取られています。

また、田の浜コミセン付近では、崩落した河岸を復旧するためコンクリートブロック積工による復旧工事を第2四半期（7月～9月）に発注予定とのことです。なお、船越・田の浜・大浦地区の災害復旧の担当は建設課です。

砂防堰堤とは山の斜面や川底・川岸などから流出する土砂を貯めて川の水の流れを緩くしたり、斜面崩壊や川の侵食が進むのを防いだり、一度に大量の土砂が下流に流れ出て災害を起こさないように土砂の流出量をコントロールしたりといった役割があります。

準用河川長内川 (豊間根地区)

豪雨により氾濫した準用河川長内川は、護岸の各所が崩落する被害が発生しました。それぞれの被害箇所です復旧工事が行われています。なお、織笠以北の災害復旧の担当は都市計画課です。



護岸復旧中の長内川（長内コミセン付近）



氾濫被害が発生した長内川

林道草木線 (織笠地区)

路盤の流出などにより通行ができなくなっていた林道草木線の災害復旧工事が行われました。

林道の災害復旧工事はこのほかにも行われており、産業建設民生常任委員会では島田線（豊間根地区）、沢田線（山田地区）を視察しました。なお、林道の担当は農林課です。



林道草木線を視察する委員



被災し道路が川ようになった草木線



通行時に危険が伴う路肩崩落場所

町道山の内・四十八坂線 (船越地区)

船越地区の下水処理場付近で路肩が崩落した町道山の内・四十八坂線は、今年度の第2四半期（7月～9月）に工事発注予定とのことです。

なお、町道の担当は建設課です。



町政に対する要望と回答

現地視察終了後、委員会を開催し問題と感じた点についてまとめ、町政に対する要望として5月19日付けで町長宛てに提出したところ、6月10日付けで回答がありました。要約したものを掲載してお知らせします。

要望 町道災害復旧工事では、必要な措置を講じて、地域住民の安全の確保をしていただきたい。

回答 危険箇所では早急に対策を講じた。今後も現場の安全確保に十分留意しながら進めていく。

要望 2以上の課で行う事業の実施は横の連携を。

回答 複数の部署に施工が分かれる箇所については、これまでも調整を図りながら実施しており、引き続き横の連携を密にし、取り組んでいく。

要望 河川の復旧が遅れているように見える。なるべく早く完了できるよう努めていただきたい。

回答 施工中・未発注の工事が約5割であり、早期復旧が喫緊の課題である。1日も早い完成を目指して工事を進めていく。

要望 災害復旧の早期完了のため、必要な手続きなどを確実に行之、遅延の防止を。

回答 工事の実施に必要な用地は早期に確保し、工程通りの施工ができるよう努めていく。

要望 河川の施工箇所付近において、災害復旧の範ちゅうを超える箇所も施工が必要な場合は、単費でも実施できるよう検討していただきたい。

回答 復旧を要する被災箇所が確認された場合は、関係部署と調整のうえ対応を検討していく。

要望 工期は標準で決定せず、請負業者などと十分な協議を行ったうえで決定していただきたい。

回答 現場施工条件や進捗状況^{しんちよく}を施工業者と確認しながら判断し、必要な工期の確保に努めていく。

みんなの「声」

Vol. 15

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。表紙(1頁)に登場いただいた家族にお話を聞きました。

豊間根地区在住の小山さん家族
佳正さん 結奈(ゆな)ちゃん(10歳・長女)
麻衣子さん 成琉(なる)くん(7歳・長男)

山田北インターのフル化で活気のある町に!

町の良いところは

町民のまとまりがすごく何ごとにも全力で取り組んで、人が温かいところですよ。

町に望むことは

住みよい町、活気のある町にしてほしいです。山田北インターのフル化に力を入れてほしいです。

子どもに望むことは

元気に人の気持ちに寄り添える人になってほしい。

表紙の写真を募集しています。第173号掲載分は9月21日(火)を締め切りとします。その後も随時募集します。詳しくは町議会のホームページをご覧ください。

傍聴席からひとこと

わたなべ かずあき
渡辺 和昭さん



渡辺さんと盲導犬のワンダー

今までに町長さんや知り合いの議員さんに何回か「議会の傍聴に来ませんか」と誘われていました。今回時間が取れたので初めて伺いました。入るまでに結構な時間待たされたので、「これはダメなのか、帰ろうかな」と思っていたところに入場許可がありました。後で聞いたところ山田町では盲導犬が議場に入るのは初めてでかつ議事の途中だったので許可がおりるまでに時間がかかったとのことでした。次回からはスムーズに入場できることを期待します。

傍聴席までの造りが目の不自由な自分向けに造られていないなと思いましたが、席まで案内してくれた議会事務局の方が丁寧親切だったので「次回も何とかなるかなあ。頑張ってください」

今回、盲導犬はしっかり訓練されていて無駄ばえしたりむやみにかんだりしない賢い子ですよというPRも兼ねて傍聴に行きました。間近で聴く議会は臨場感があり、議場内の緊張感も伝わって来ました。途中ワンダーにもその緊張感が伝わりソワソワと落ち着きをなくしそうでしたが何とか耐えてくれたようです。また機会を見つけて傍聴に伺いますのでよろしくお願いします。

山田町のためにこれからも頑張ってください。

次の定例会は9月10日(金)に開会する予定です。お気軽にお越しください。

No. 57

あとかき

▼皆様の激励をいただきながら、町議会議員として活動してから、約2年の歳月になるうとしています。▼この間世界中が新型コロナウイルスに見舞われました。当山田町においても同様でありましたが、本町のワクチン接種はほかと比較して順調に推移しております。これは、町民各位の紳士的な行動はもちろんですが、町当局の町民に対する心温まる努力の結果であると確信しております。▼この議会報が発刊されて、皆様に届くころにはコロナ騒動が収まり町民全員が笑って海水浴などを楽しんでいることを願っております。(昆清)

発行責任者

議長 昆 暉 雄

議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光
副委員長 阿 部 吉 清
委員 阿 部 吉 清
委員 阿 部 吉 清

阿 部 幸 一
横 田 龍 一
豊 間 根 部
阿 部 吉 清
昆 地 光
阿 部 吉 清